

## 《Lesson 6》to 不定詞（名詞的用法）

「to 不定詞」とは「to + 動詞の原形」の形で、名詞、形容詞、副詞として使われます。名詞として使われる時には、動名詞のように「～すること」「～の」と訳されます。例えば、to study（勉強すること）、to run（走ること）という形で使われます（主語として使われる場合は、基本的に三人称単数形扱いとなります）。

<例> **To study** is important. = Studying is important. (勉強することは重要です)  
**To run** is fun. = Running is fun. (走ることは楽しいです)

また、「動名詞フレーズ」のように「to 不定詞」にも「+α」を足すことができます。

<例> **To study every day** is important. (毎日勉強することは重要です)  
= **Studying every day** is important.  
**To run in the morning** is fun. (毎朝走ることは楽しいです)  
= Running in the morning is fun.

そして、to 不定詞を否定形にするには **not** を **to** の前に足します。

<例> **Not to eat breakfast** is a bad idea. (朝食を食べないのは悪い考えでした)  
= Not eating breakfast is a bad idea.

### 【ポイント！ 動名詞 と to不定詞 の違い】

#### (1) 意味について

「to 不定詞」と「動名詞」が主語になる場合、多くの場合両方使えますが、厳密には以下のような違いがあります。

**to 不定詞** = 「これから取る行動」や「ある状態になろう」という意思や感情（未来）を示す動詞がつく傾向がある。動詞的な扱い。

**動名詞** = 「一般的なこと」や「現在やこれまでの事実」（過去）を説明する動詞がつく傾向がある。普通の名詞に近い扱い。

<例>

- **To do that now is not a good idea.** (今それをするのは、いい考えではないです)  
〈「今それをする」というこれからの行動を表している〉
- **Studying every day is important.** (毎日勉強することは、重要です)  
〈一般的に「毎日勉強すること」について表している〉

#### (2) 前置詞の後に使えるのは、「動名詞」だけ

<例> She is good at **dancing**. (She is good at to dance. = ×)  
He made this without **using a computer**. (He made this without to use a computer. = ×)